

山田クリニック ぽすと

平成23年 9月号

〒522-0054 彦根市西今町 923-1

Tel 0749-22-7005 Fax 21-3981

<http://www.hikone-yamadacl.com>

診察室から

あっという間に9月になり、秋がそこまでやってきました。昔から『カキが赤くなると医者が青くなる』という、秋は開業医にとっては、厳しい季節です。それでも、インフルエンザワクチンの予約も始まりますし、子宮頸がんワクチンや肺炎予防ワクチンの接種など、いろいろな仕事が控えています。話は変わりますが、湖東地域では9月1日から新しい脳卒中治療の取り組みが始まります。以前にも書きましたが、脳卒中クリティカルパスと呼ばれる治療指針が保健所や医師会の提案で設定され、正式に実施されることになりました。これは湖東地域の全ての脳卒中患者を、発症直後から約2週間の治療は彦根市立病院で、その後のリハビリは豊郷病院、彦根中央病院、近江温泉病院、神埼中央病院、ヴォーリス記念病院で行い、退院後は開業医(かかりつけ医)が再発予防を行う計画です。昨年6月から実験的に使用され、約170名の方がこの治療法で治療を受けておられます。脳卒中クリティカルパスは病気の時期ごとに、専門化が最高の治療を行うことを目的に計画されたものですので、ご協力のほどお願い致します。

検査室より おしっこの色

健康な場合、正常な尿の色は淡黄色をしています。尿の色は水分を多く取ったときには無色に近く、大量に汗などをかいて少ないときには黄褐色になります。朝起きて初めてするおしっこの色は、睡眠中に身体の水分が奪われているために濃縮された黄褐色のおしっこがでます。さらに食べもの・季節・体調・運動・ビタミンや薬の服用などでも変化します。健康体で尿が黄色く見えるのは、胆汁(肝臓から分泌される消化液)に含まれて運ばれてくるビリルビンという色素のためです。

- 普通(正常)な尿の色:黄色～琥珀のような淡黄褐色で透明です。
- オレンジ色(真っ黄色):ビタミン剤を飲むとオレンジ色になります。とくにビタミンB2は尿の色が変化しやすく、明るいオレンジ色になることがあります。しかしビタミン剤による影響ですので心配はありません。
- 色が薄く、ほとんど無色:異常におしっこの量が多くなると、尿の色が薄まり無色に近くなります。糖尿病の方に多く見られるようです。*多量の飲水の際は正常です。
- 黄褐色～褐色(黄褐色よりさらに濃い色):肝臓の代謝でできる色素が尿の中に出てきた場合で、肝機能に異常がある場合にみられます。高熱や脱水症のとき、急性肝炎などの肝臓の病気、胆道系の病気など。

季節のことは

秋彼岸 (あきひがん)

秋分の日をはさんで七日間が秋彼岸で、法要や墓参を行い、祖先の供養をします。

単に彼岸と言えは春の彼岸のことですから、秋の場合はわざわざ秋彼岸とか後彼岸と表現します。

当院の診察時間のご案内

	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	△	○	○	○
午後	○	×	○	×	○	×
午前診察	9:00～12:00			△:水曜日は11:00まで		
午後診察	4:00～6:00					

ご連絡

保険証提示のお願い

毎月1回は、保険証の提示をお願い致します。

